

2010 年制定

土木構造物共通示方書 I (総則, 用語, 責任技術者, 要求性能, 構造計画)

総目次

本編	p.1
1章 総 則	p.1
2章 用語の定義	p.6
3章 責任技術者の権限と責任	p.9
4章 構造物の要求性能と性能の検討	p.26
5章 構造計画	p.29
付属資料 I 【3章 責任技術者の権限と責任の補足資料】	p.35
付属資料 I - 1 契約方式の例 (契約範囲による分類)	p.35
付属資料 I - 2 三者関係資料	p.38
付属資料 I - 3 本示方書の主旨を具現化するための契約のあり方	p.41
付属資料 II 【各構造系における構造計画】	p.54
1章 鉄道構造物	p.55
2章 道路構造物	p.96
3章 港湾構造物	p.125
付属資料 III 【構造計画の事例】	p.135
1章 鉄道構造物の事例	p.136
2章 道路構造物の事例 1	p.143
3章 道路構造物の事例 2	p.150
4章 港湾構造物の事例	p.156

2010年制定
土木構造物共通示方書 II (作用・荷重)
総目次

【本編】

序文	i
1章 総則	1
2章 作用・荷重の種類	12
3章 作用・荷重の組合せ	25

【付録】

付録の概要	29
【各種構造物で共通に注意が必要な作用】	
A 地震作用	37
【各種構造物における設計作用・荷重の設定例】	
B 橋梁上部構造	71
C 抗土圧構造物	88
D ボックスカルバート	103
E 容器構造物	124
F 港湾・海岸構造物	134
G 塔状構造物	149
H 仮設構造物	159
【特定の作用・限界状態】	
I 衝撃作用	169
J 環境作用	188
K 疲労	195